

予算の概要 介護保険(介護勘定)

■収入

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護保険収入	233,995	96,294
繰入金	29,595	12,179
雑収入	9	3
合計	263,599	108,477

■支出

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護納付金	253,388	104,275
介護保険料還付金	200	82
雑支出	11	5
予備費	10,000	4,115
合計	263,599	108,477



第145回組合会  
平成29年度収入支出予算以外の  
以下の議案についても可決されました

- 平成29年度調整保険料率変更に伴う一般保険料率変更と介護保険料の件  
健康保険料率(81/1000)、介護保険料率(11/1000)とも前年度より変更なし
- 平成29年度社会保険診療報酬支払基金の委託金承認の件  
法定準備金内での資金移動
- 理事長専決事項報告・承認の件
  - ①加入事業所の名称変更及び住所変更の承認(日本水路図誌 港区→横浜市、東京マリンの社名変更→MOLケミカルタンカー、MOLエンジニアリング 大田区→港区)
  - ②事業所の消滅(MOL Bulk Carriers 清算・抹消)
  - ③予算の款項目間の流用

予算の概要 健康保険(一般勘定)

■収入

科目	予算額(千円)
健康保険収入	2,646,108
保険料	2,645,478
国庫負担金収入	629
その他の	1
調整保険料収入	52,640
繰入金	130,995
国庫補助金収入	2,186
財政調整事業交付金	10,000
雑収入	9,535
合計	2,851,464
経常収入合計(A)	2,656,824

■支出

科目	予算額(千円)
事務費	65,005
保険給付費	1,292,580
法定給付費	1,198,025
付加給付費	94,555
納付金	1,264,153
前期高齢者納付金	539,741
後期高齢者支援金	680,876
病床転換支援金	3
日雇拋出金	49
退職者給付拋出金	43,477
老人保健拋出金	7
保健事業費	121,956
財政調整事業拋出金	52,640
連合会費	1,048
積立金	2,730
予備費	50,000
還付金・その他	1,352
合計	2,851,464
経常支出合計(B)	2,747,823

経常収入支出差引額(A)-(B) ▲90,999千円

※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合があります。

◎介護保険(介護勘定)  
介護納付金は前年度比で13.5%増  
29年度は8月より介護納付金の算定方法に2分の1の総報酬割が導入されるため、介護納付金を28年度比3,017万円(13.5%)増の2億5,339万円と見込んでいます。29年度の介護保険料率は28年度と同様100.00分の11とします。介護保険料の負担割合は、事業主と被保険者の折半(100.00分の5.5ずつ)です。  
さらに32年度の全面総報酬割導入に向けて、30年2分の1、31年4分の3と、比率が段階的に引き上げられ、介護納付金が増大するのは必至であり、財政状況は今後ますます厳しくなる予想されます。

平成29年度予算のお知らせ

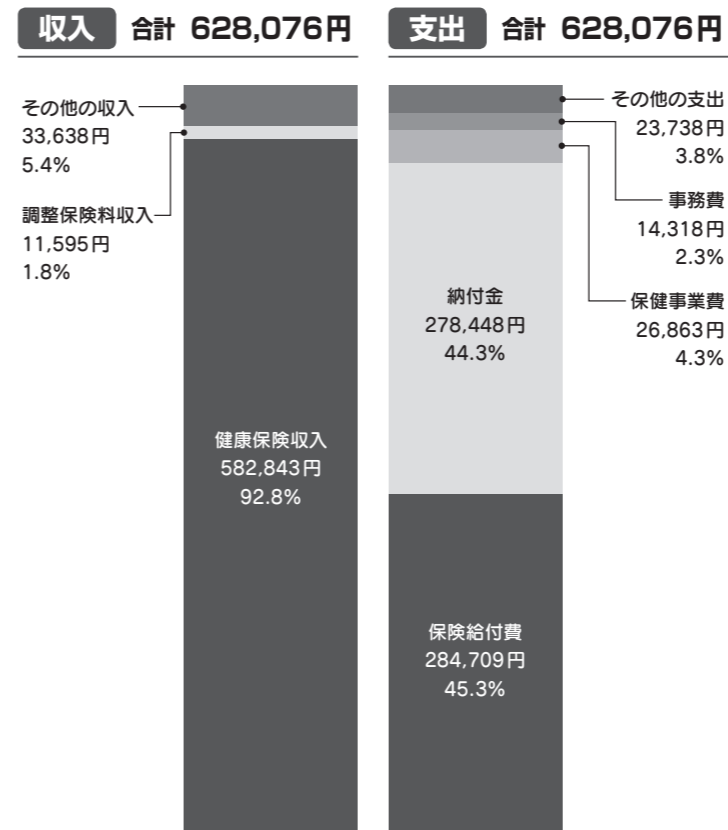
高齢者医療への納付金が保険料の半分近くを占める厳しい予算内容となる

健康保険、介護保険ともに保険料率は前年と同率

当健保組合の平成29年度予算が、2月21日に開催された第145回組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

◎健保組合を取り巻く状況  
健康保険組合連合会が公表した平成27年度決算見込によると、27年度の全健保組合の経常収支は1,278億円の経常赤字となっております。これは多くの健保組合が保険料率引き上げを行ったことが最大の原因で平均保険料率は初めて9%を超えました。全健保組合の46.3%は赤字決算となっております。依然として健保組合を取り巻く状況は厳しいことには変わりありません。  
そのような中、29年度の当健保組合は前年度同様保険料率引き上げを行うことなく予算編成を行いました。高齢者医療への納付金増大が見込まれることから、経常収支で赤字予算となりました。支出面で前期高齢者納付金は28年度比で約1億6,000万円増となっており、後期高齢者支援金も同比で約8,900万円増の見込みと健保財政は依然として厳しいものとなっております。  
当健保組合は、29年度も引き続き医療費抑制に向けた事業の推進など財政健全化施策を実施してまいります。皆様方におかれましても、当健保組合の行っている各種健診事業等を積極的に利用され、健康の維持増進に努めてください。また、ご協力をお願いいたします。  
また、平成29年度は「データヘルス事業」の3年目にあたる年であり、28年度に引き続きデータ分析に基づく効果的な保健事業の計画を展開してまいります。

◎被保険者1人当たりの収支の割合(健康保険(一般勘定))



※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合や、各科目の合計が100%にならない場合があります。

◎健康保険(一般勘定)  
収入の大部分を占める保険料は、前年度より約300万円増の26億4,548万円を見込みました。支出は皆様やご家族の医療費に使われる保険給付費が12億9,258万円、高齢者医療への納付金が12億6,415万円を見込みました。29年度の納付金は28年度に比べ、約2億3,000万円の大増となっており、納付金の保険料収入に占める割合は47.8%となっております。また、皆様の健康を守るための保健事業費には1億2,196万円を計上しました。以上のことより、実質的な財政状況である経常収支では9,100万円の赤字を見込んでいます。

<予算の基礎数値>

- ・被保険者 4,540人
- ・平均標準報酬月額 570,156円
- ・総標準賞与額(年間合計) 2,866,271千円
- ・被保険者の平均年齢 43.39歳
- ・健康保険料率(調整保険料含む) 81.00/1,000  
(事業主54.43/1,000 被保険者26.57/1,000)
- ・介護保険料率 11.0/1,000  
(事業主5.50/1,000 被保険者5.50/1,000)